

各 位

会 社 名 T D S E 株 式 会 社
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 東 垣 直 樹
 (コード番号:7046 東証グロース)
 問 合 せ 先 取 締 役 執 行 役 員 専 務 浦 川 健
 (TEL.03-6383-3261)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2022年7月29日に公表しました業績予想を以下のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の業績予想数値の修正 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 2,020	百万円 220	百万円 220	百万円 124	円 銭 60.73
今 回 修 正 予 想 (B)	2,247	237	238	136	65.94
増 減 額 (B - A)	227	17	18	11	
増 減 率 (%)	11.3	7.9	8.4	9.0	
(参考) 前期実績(2022年3月期)	1,723	217	219	148	72.19

2. 修正の理由

売上高が前回予想を上回る見込みとなった要因は2点あります。1点目は、フロー型ビジネス（コンサルティングサービス）で、施策の中心である「大規模×長期化(LTV最大化)」です。第3四半期以降も安定的に推移することが予想されます。2点目は、ストック型ビジネス（サブスクリプションサービス）においてNetbaseおよびCognigy共にサービス拡張・販売チャンネル拡大している等です。利益については、事業強化および製品開発のための技術社員増強に向けた経費および研究開発費に加え、案件増加に伴い外注費が前年度対比で増加しますが、営業利益、経常利益及び当期純利益ともに前回予想を上回る見込みです。

今後も引き続き、フロー型ビジネスでは、顧客との中長期にわたる関係強化を継続的に実施してまいります。また、ストック型ビジネスでは、提供している既存商品のサービス拡張および新サービスの提供に向けた準備を継続してまいります。加えて社員の育成・採用強化、デジタルマーケティングおよびパートナーネットワークの強化に努める方針です。

(業績予想に関する注意事項)

上記予想は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる数値となる可能性があります。なお、コロナの影響は2023年3月期中も続くと仮定しております。

以 上